

観点 番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
	2・東書	第1学年 第2学年 第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	道徳・112 道徳・212 道徳・312 道徳・412 道徳・512 道徳・612	新編 あたらしい どうとく 1 新編 新しいどうとく 2 新編 新しいどうとく 3 新編 新しいどうとく 4 新編 新しい道徳 5 新編 新しい道徳 6
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等	<p>○ 生命の尊厳については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～自身の誕生に対する周囲の喜びなどを基に、生きることのすばらしさを知り、生命を大切にすることについて考える活動</p> <p>第2学年～食物連鎖などを基に、生きることのすばらしさを知り、生命を大切にすることについて考える活動</p> <p>第3学年～重い病気を患っている子どもをもつ親の生き方などを基に、生命の尊さを知り、生命あるものを大切にすることについて考える活動</p> <p>第4学年～健康でいることへの喜びなどを基に、生命の尊さを知り、生命あるものを大切にすることについて考える活動</p> <p>第5学年～病気で命を失った子どもの話などを基に、生命はつながりの中にあるかけがえのないものであり、生命を尊重することの大切さについて考える活動</p> <p>第6学年～病気で命を失った子どもの話などを基に、生命はつながりの中にあるかけがえのないものであり、生命を尊重することの大切さについて考える活動</p> <p>○ 自然については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～季節の移り変わりに伴う草木の変化などを基に、身近な自然や動植物に優しい心で接することの大切さについて考える活動</p> <p>第2学年～公園にいる生きものとのふれあいなどを基に、身近な自然や動植物に優しい心で接することの大切さについて考える活動</p> <p>第3学年～身近な動物に対し、大切にしたいことなどを基に、自然のすばらしさや不思議さを感じ取り、自然や動植物を大切にすることについて考える活動</p> <p>第4学年～フクロウの観察などを基に、自然のすばらしさや不思議さを感じ取り、自然や動植物を大切にすることについて考える活動</p> <p>第5学年～イルカの保護活動などを基に、自然の偉大さを知り、自然環境を大切にすることについて考える活動</p> <p>第6学年～外来種の問題などを基に、自然の偉大さを知り、自然環境を大切にすることについて考える活動</p> <p>○ 伝統と文化については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～他の国から来た食べ物などを基に、我が国や郷土の文化と生活に親しみ、愛着をもつことの大切さについて考える活動</p> <p>第2学年～通学路における四季の移ろいなどを基に、我が国や郷土の文化と生活に親しみ、愛着をもつことの大切さについて考える活動</p> <p>第3学年～自治体のイメージキャラクターなどを基に、我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、国や郷土を愛する心をもつことの大切さについて考える活動</p> <p>第4学年～ふるしきの使い方などを基に、我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、国や郷土を愛する心をもつことの大切さについて考える活動</p> <p>第5学年～正月料理などを基に、我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、国や郷土を愛する心をもつことの大切さについて考える活動</p> <p>第6学年～坂本龍馬の生き方などを基に、我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、国や郷土を愛する心をもつことの大切さについて考える活動</p> <p>○ 情報化への対応については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～ICT端末の正しい使い方を扱い、使い方のルールを守るた</p>			

- 第2学年～ICT端末に係る依存症を扱い、使いすぎないようにするために、どのようなことが大切なのかを考える活動
- 第3学年～著作権を侵害する場面を扱い、情報を発信する際のきまりを守るためには、どのようなことが大切なのかを考える活動
- 第4学年～オンラインゲームで遊ぶ場面を扱い、友人と楽しく遊ぶためには、どのようなことが大切なのかを考える活動
- 第5学年～ネットで動画を共有する場面を扱い、発信する情報に責任をもつためには、どのようなことが大切なのかを考える活動
- 第6学年～インフォデミックが起こった場面を扱い、情報社会で差別が起きないようにするために、どのようなことが大切なのかを考える活動

- 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。
 - 第1学年～「おうだんぼどうで」において、登場人物と同じようにお辞儀をしたりやってみてどう思ったのかを友達と話し合ったりするなど、グループでの話合いや役割演技を通して、考えを広げたり、深めたりする活動
 - 第2学年～「いそいでいても」において、登場人物になって、挨拶をしてみたり、やってみてどう思ったのかを友達と話し合ったりするなど、グループでの話合いや役割演技を通して、考えを広げたり、深めたりする活動
 - 第3学年～「SL公園で」において、登場人物の行動の問題点について考えたり、未来の自分に向けてメッセージを送ったりするなど、考えを広げたり、深めたりする活動
 - 第4学年～「大きな絵はがき」において、登場人物の悩みについて考えたり、自分が友達関係で生かしたいことを考えたりするなど、考えを広げたり、深めたりする活動
 - 第5学年～「駅前広場は自転車置き場？」において、「子ども会の参加者」として、提案について話し合ったり、きまりが守られる社会にするために必要な心構えについて考えたりするなど、考えを広げたり、深めたりする活動
 - 第6学年～「修学旅行の夜」において、自由と自分勝手の違いは何かについて考えたり、自由ではなく自分勝手だったことはないか自分を振り返ったりするなど、考えを広げたり、深めたりする活動

内容の構成・
 排列、
 分量等

- 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。
 - ・言語活動については、各学年に、自分の考えを可視化し、友達と考えを比べ、多様な感じ方や考え方があることに気付くことができる「考えるためのツール」を配置し、児童が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができる工夫
 - ・問題解決的な学習については、各学年に、道徳的価値に根差した問題を見付け、多面的・多角的に考えながら話し合う学習指導過程の提案として、「問題を見つけて考えよう」を配置し、自分との関わりで道徳的価値を捉え、自分なりに発展させていくことへの思いや課題が培われるような工夫
 - ・体験的な学習については、各学年に、「演じて考えよう（役割演技）」や「やってみて考えよう（動作化）」を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるような工夫
- 内容の分量については、次のようになっている。
 - ※ Aは「主として自分自身に関すること」、Bは「主として人との関わりに関すること」、Cは「主として集団や社会との関わりに関すること」、Dは「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」、Eは「複数の内容項目が含まれている教材等」、Fは「内容項目以外の記載等」を表す。
 - 第1学年～Aは39ページ、Bは35ページ、Cは30ページ、Dは23ページ、Eは0ページ、Fは19ページであり、総ページ数は146ページで、前回より約14%増となっている。
 - 第2学年～Aは44ページ、Bは37ページ、Cは36ページ、Dは26ページ、Eは0ページ、Fは19ページであり、総ページ数は162ページで、前回より約11%増となっている。
 - 第3学年～Aは32ページ、Bは47ページ、Cは47ページ、Dは33ページ、Eは0ページ、Fは19ページであり、総ページ数は178ページ

	<p>ジで、前回より約6%増となっている。</p> <p>第4学年～Aは42ページ、Bは38ページ、Cは46ページ、Dは33ページ、Eは0ページ、Fが、21ページであり、総ページ数は180ページで、前回より約5%増となっている。</p> <p>第5学年～Aは40ページ、Bは37ページ、Cは56ページ、Dは34ページ、Eは0ページ、Fは、21ページであり、総ページ数は188ページで、前回より約2%増となっている。</p> <p>第6学年～Aは35ページ、Bは34ページ、Cは57ページ、Dは47ページ、Eは0ページ、Fは23ページであり、総ページ数は196ページで、前回より約2%減となっている。</p>
使用上の配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年に、道徳科の授業で養われる道徳性をイメージしながら学習に取り組めるように、「心のちから」や成長を実感できる「学習の記録」を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 各学年に、「どんな学びをするのかな？」や自分の考えを可視化し、話し合い活動を促すためのツールを配置し、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての児童が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントやカラーユニバーサルデザインに配慮する（全学年）とともに、二次元コードを掲載し、「コンピュータで学びを広げよう」を活用できるようにする（全学年）など、使用上の便宜が図られている。
指導上の配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域素材については、第5学年の「ペンギンは水の中を飛ぶ鳥だ」において、旭川市の旭山動物園園長の坂東元さんが設計したペンギン館が扱われている。二次元コードから、坂東園長が、旭山動物園を廃園の危機から切り抜け、個性的な施設を創り上げるまでを紹介する動画が扱われている。 ○ ICTの活用については、教材とコラムをつなげたユニットが掲載され、ICT機器に触れる機会の多い夏休み前に活用できるよう工夫されている。また、発達段階に応じて情報モラルを系統的に学ぶことができるよう工夫されている。 ○ 小中連携については、高学年の現代的な課題に関する教材を通して、中学校生活を見据え、自分の夢や生き方について考えさせることができるよう配慮がなされている。
本市児童の学習の状況等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道徳的価値を多面的・多角的に考える力を育むことができるよう、関連する動画や写真が適宜配置されている。また、巻末に「考えるためのツール」が設定され、心の中を見つめ思考の共有化・見える化を図り、議論を深められるよう工夫がなされている。 ○ 道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で考える力を育むことができるよう、「考えよう」において、自己を見つめ、これからの生き方に生かしていくための問いがあるとともに、「つながる・広がる」において、普段の生活に結び付けて考えることができるよう工夫がなされている。 ○ いじめの防止については、繰り返し考えることができるよう「いじめ(人間関係)」「いのち(生命尊重)」「じぶん(自己肯定感)」の3つのユニットが設定され、多面的・多角的に考えられるよう工夫がなされている。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 人権教育、多様性、SDGs、LGBTQ等については、コラムを通じて、性の多様性を受け入れる態度を養うよう配慮がなされている。

観点 番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
	17・教出		第1学年 第2学年 第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	道徳・113 道徳・213 道徳・313 道徳・413 道徳・513 道徳・613
取扱内容 学習指導 要領の総 則及び各 教科の目 標、内容 等	<p>○ 生命の尊厳については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～お母さんのお腹の中での命のはじまりなどを基に、生きることのすばしさを知り、生命を大切にすることについて考える活動</p> <p>第2学年～地震による災害などを基に、生きることのすばらしさを知り、生命を大切にすることについて考える活動</p> <p>第3学年～重い病気を患っている子どもの生き方などを基に、生命の尊さを知り、生命あるものを大切にすることについて考える活動</p> <p>第4学年～院内学級の児童が書いた「命」の詩などを基に、生命の尊さを知り、生命あるものを大切にすることについて考える活動</p> <p>第5学年～病気で命を失った兄弟の話などを基に、生命はつながりの中にあるかけがえのないものであり、生命を尊重することの大切さについて考える活動</p> <p>第6学年～院内学級の教師の思いなどを基に、生命はつながりの中にあるかけがえのないものであり、生命を尊重することの大切さについて考える活動</p> <p>○ 自然については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～自然の中での遊びの経験などを基に、身近な自然や動植物に優しい心で接することの大切さについて考える活動</p> <p>第2学年～生き物と関わる時に気を付けることなどを基に、身近な自然や動植物に優しい心で接することの大切さについて考える活動</p> <p>第3学年～動物園の飼育員の行動などを基に、自然のすばらしさや不思議さを感じ取り、自然や動植物を大切にすることについて考える活動</p> <p>第4学年～世界自然遺産などを基に、自然のすばらしさや不思議さを感じ取り、自然や動植物を大切にすることについて考える活動</p> <p>第5学年～自然保護活動などを基に、自然の偉大さを知り、自然環境を大切にすることについて考える活動</p> <p>第6学年～プラスチックごみの問題などを基に、自然の偉大さを知り、自然環境を大切にすることについて考える活動</p> <p>○ 伝統と文化については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～昔から伝わる日本の行事などを基に、我が国や郷土の文化と生活に親しみ、愛着をもつことの大切さについて考える活動</p> <p>第2学年～生まれ育ったふるさとなどを基に我が国や郷土の文化と生活に親しみ、愛着をもつことの大切さについて考える活動</p> <p>第3学年～地域に伝わる祭りや行事などを基に、我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、国や郷土を愛する心をもつことの大切さについて考える活動</p> <p>第4学年～日本や地域の伝統の食べ物などを基に、我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、国や郷土を愛する心をもつことの大切さについて考える活動</p> <p>第5学年～伝統的工芸品などを基に、我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、国や郷土を愛する心をもつことの大切さについて考える活動</p> <p>第6学年～松浦武四郎の生き方などを基に、我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、国や郷土を愛する心をもつことの大切さについて考える活動</p> <p>○ 情報化への対応については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～掲示板で友達に伝える場面を扱い、嘘を伝えて、困らせないためには、どのようなことが大切なのかを考える活動</p>			

- 第2学年～インターホンでアンケートを受ける場面を扱い、安全に気を付けて毎日の生活を送るためには、どのようなことが大切なのかを考える活動
- 第3学年～新聞づくりの場面を扱い、情報を発信する際のきまりを守るためには、どのようなことが大切なのかを考える活動
- 第4学年～インターネットでプレゼントの応募をする場面を扱い、自分の情報を守るためには、どのようなことが大切なのかを考える活動
- 第5学年～SNSによるいじめの場面を扱い、自分が被害を受けたときに適切な対応をするためには、どのようなことが大切なのかを考える活動
- 第6学年～インターネットで情報を発信する場面を扱い、他人のプライバシー権を侵害しないためには、どのようなことが大切なのかを考える活動

○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。

- 第1学年～「こくばんとうばん」において、登場人物の続きの言葉を考えたり、にっこりと笑った役になって演じたりするなど、グループでの話合いや役割演技を通して、考えを広げたり、深めたりする活動
- 第2学年～「あいさつのしかた」において登場人物になって挨拶を試してみたり、やってみてどう思ったのか、友達と話し合ったりするなど、グループでの話合いや役割演技を通して、考えを広げたり、深めたりする活動
- 第3学年～「新聞係」において、新聞係の問題点について考え、発表したり、みんなから喜ばれる新聞を作るための解決方法を話し合ったりするなど、考えを広げたり、深めたりする活動
- 第4学年～「プロレスごっこ」において、クラスの問題点について考え、発表したり、自分がクラスの一員だったら、どうしたいかを発表したりするなど、考えを広げたり、深めたりする活動
- 第5学年～「図書館はだれのもの」において、自分が「わたし」だったら、どうするのかについて話し合ったり、身のまわりにあるきまりは、何のために作られているのかを考えたりするなど、考えを広げたり、深めたりする活動
- 第6学年～「〇〇しながら」において、複数のことを同時にやって失敗した際の問題点について考えたり、事例の共通点、異なる点、問題の重さについて話し合ったりするなど、考えを広げたり、深めたりする活動

内容の構成・
排列、
分量等

○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。

- ・言語活動については、各学年に、児童が話し合ったり、自分の考えをまとめたりするための「学習のてびき」に「考えよう」「深めよう」を配置し、児童が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができる工夫
- ・問題解決的な学習については、各学年に、児童が自ら課題を見つけ、友達と議論を重ねながら課題の解決方法を見いだすための「学習のてびき」を配置し、自分との関わりで道徳的価値を捉え、自分なりに発展させていくことへの思いや課題が培われるような工夫
- ・体験的な学習については、各学年に、演じたり、話し合ったりしながら自分の考えを発表する「やってみよう」を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるような工夫

○ 内容の分量については、次のようになっている。

- ※ Aは「主として自分自身に関すること」、Bは「主として人との関わりに関すること」、Cは「主として集団や社会との関わりに関すること」、Dは「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」、Eは「複数内容項目が含まれている教材」、Fは「内容項目以外の記載等」を表す。
- 第1学年～ Aは47ページ、Bは34ページ、Cは47ページ、Dは18ページ、Eは0ページ、Fは15ページであり、総ページ数は161ページで、前回より約20%増となっている。
- 第2学年～ Aは45ページ、Bは37ページ、Cは48ページ、Dは16ページ、Eは0ページ、Fは15ページであり、総ページ数は161ページで、前回より約13%増となっている。
- 第3学年～ Aは37ページ、Bは39ページ、Cは51ページ、Dは25ページ、

	<p>Eは0ページ、Fは17ページであり、総ページ数は169ページで、前回より約13%増となっている。</p> <p>第4学年～Aは42ページ、Bは41ページ、Cは44ページ、Dは25ページ、Eは0ページ、Fは17ページであり、総ページ数は169ページで、前回より約4%増となっている。</p> <p>第5学年～Aは46ページ、Bは28ページ、Cは62ページ、Dは28ページ、Eは4ページ、Fは17ページであり、総ページ数は185ページで、前回より約11%増となっている。</p> <p>第6学年～Aは33ページ、Bは41ページ、Cは57ページ、Dは37ページ、Eは0ページ、Fは17ページであり、総ページ数は185ページで、前回より約9%増となっている。</p>
<p>使用上の 配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年に、道徳の学びへの意識を高めながら、見通しをもって学習に取り組める「学びのガイダンス」や各ページ末に学習を振り返る「学びチェック」欄を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、児童の学習上意欲を高める工夫がなされている。 ○ 各学年に「道徳ではこんな学び方をするよ」や教材での学びをさらに深め充実させる「タブレットを学習に生かそう」を配置し、児童が主体的に学習に取り組むこと等ができるような工夫がなされている。 ○ 全ての児童が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントやカラーユニバーサルデザインに配慮する（全学年）とともに、二次元コードを掲載し「まなびリンク」を活用できるようにする（全学年）など、使用上の便宜が図られている。
<p>指導上の 配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域素材については、第5学年「よさこいソーラン祭り」、第6学年「北海道の名づけ親－松浦武四郎－」及びコラム「アイヌの心のよりどころ」で札幌市の祭りやアイヌの伝統文化が扱われている。また、二次元コードの「学びリンク」では、内閣官房アイヌ総合策室、北海道アイヌ協会、アイヌ民族文化財団及び北海道庁アイヌ政策推進局アイヌ政策課が、参考になるウェブサイトとして掲載されている。 ○ ICTの活用については、児童の発達段階に応じ、インターネットやメールなどを題材にした情報モラル教育を扱い、主体的に話し合うことを通じて学ぶことができるよう工夫がなされている。 ○ 小中連携については、第6学年の巻末に小学校生活6年間を振り返り、支えてくれた人たちへの感謝の思いを表す「卒業に向けて」の教材を配置し、卒業前に自分たちができることを考えさせる配慮がなされている。
<p>本市児童の 学習の状況等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道徳的価値を多面的・多角的に考える力を育むことができるよう、キャラクターによる導入、「考えよう」「深めよう」などにおける問いかけにより、児童の多様な考えを引き出すことができるよう工夫がなされている。 ○ 道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で考える力を育むことができるよう、各教材の「深めよう」において、児童が道徳的価値について考えたことをまとめ、自分自身との関わりの中で考えを深めることができるよう工夫がなされている。 ○ いじめの防止については、全学年で特に大切にするテーマとしてユニット化し、いじめや差別について様々な側面から考えることができるよう構成されている。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 人権教育、多様性、SDGs、LGBTQ等については、3～6年生で教材、資料及びコラムを組み合わせることで、人権問題や持続可能な社会、福祉について考えを深められるよう配慮がなされている。

観点	番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		38・光村	第1学年 第2学年 第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	道徳・114 道徳・214 道徳・314 道徳・414 道徳・514 道徳・614	どうとく1 きみがいちばんひかるとき どうとく2 きみがいちばんひかるとき どうとく3 きみがいちばんひかるとき 道徳4 きみがいちばんひかるとき 道徳5 きみがいちばんひかるとき 道徳6 きみがいちばんひかるとき
取扱内容	学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等	<p>○ 生命の尊厳については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～生まれたばかりの赤ちゃんなどを基に、生きることのすばらしさを知り、生命を大切にすることについて考える活動</p> <p>第2学年～小さな頃と比べて、変わってきたと思うところを基に、生きることのすばらしさを知り、生命を大切にすることについて考える活動</p> <p>第3学年～モンシロチョウが森の池に落ちたことなどを基に、生命の尊さを知り、生命あるものを大切にすることについて考える活動</p> <p>第4学年～おなかの中の小さな命などを基に、生命の尊さを知り、生命あるものを大切にすることについて考える活動</p> <p>第5学年～精一杯生きることなどを基に、生命はつながりの中にあるかけがえのないものであり、生命を尊重することの大切さについて考える活動</p> <p>第6学年～祖母をみとったことなどを基に、生命はつながりの中にあるかけがえのないものであり、生命を尊重することの大切さについて考える活動</p> <p>○ 自然については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～草花や動物の世話をしたことなどを基に、身近な自然や動植物に優しい心で接することの大切さについて考える活動</p> <p>第2学年～ダンゴムシを飼うことなどを基に、身近な自然や動植物に優しい心で接することの大切さについて考える活動</p> <p>第3学年～都会で、トンボを守る取組などを基に、自然のすばらしさや不思議さを感じ取り、自然や動植物を大切にすることについて考える活動</p> <p>第4学年～ウミガメの飼育と観察などを基に、自然のすばらしさや不思議さを感じ取り、自然や動植物を大切にすることについて考える活動</p> <p>第5学年～「自然はすごいな、素晴らしい」と思ったことなどを基に、自然の偉大さを知り、自然環境を大切にすることについて考える活動</p> <p>第6学年～プラスチックゴミが自然に与える影響などを基に、自然の偉大さを知り、自然環境を大切にすることについて考える活動</p> <p>○ 伝統と文化については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～日本や、住んでいるところに伝わる遊びなどを基に、我が国や郷土の文化と生活に親しみ、愛着をもつことの大切さについて考える活動</p> <p>第2学年～食べたことのあるおせちなどを基に、我が国や郷土の文化と生活に親しみ、愛着をもつことの大切さについて考える活動</p> <p>第3学年～ふろしきのいろいろな包み方などを基に、我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、国や郷土を愛する心をもつことの大切さについて考える活動</p> <p>第4学年～ふるさとの伝統的な行事などを基に、我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、国や郷土を愛する心をもつことの大切さについて考える活動</p> <p>第5学年～地域のよさなどを基に、我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、国や郷土を愛する心をもつことの大切さについて考える活動</p> <p>第6学年～日本のよさなどを基に、我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、国や郷土を愛する心をもつことの大切さについて考える活動</p> <p>○ 情報化への対応については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p>			

- 第1学年～休み時間の場面を扱い、みんなで使う物や場所の約束や決まりを守るためには、どのようなことが大切なのかを考える活動
- 学2学年～図工の時間の場面を扱い、誰かが作ったものを扱うときには、どのようなことが大切なのかを考える活動
- 第3学年～夜寝るときに、ゲームをする場面を扱い、「やめられない」を断ち切るためには、どのようなことが大切なのかを考える活動
- 第4学年～公園に行く場面を扱い、お互いが分かり合うためには、どのようなことが大切なのかを考える活動
- 第5学年～インターネットを利用する場面を扱い、インターネットの特性を踏まえたマナーを守るためには、どのようなことが大切なのかを考える活動
- 第6学年～スマートフォンで写真を投稿する場面を扱い、安心してインターネットを利用するためには、どのようなことが大切なのかを考える活動

- 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。
 - 第1学年～「二わのことり」において、小鳥の話したことを考えたり、演じたり、演じているのを見たりした後、思ったことを話したりするなど、グループでの話合いや役割演技を通して、考えを広げたり、深めたりする活動
 - 第2学年～「けんかをしたけど」において、好きなことを理由と一緒に伝えたり、伝え合ってよかったことを出し合ったりするなど、グループでの話合いや役割演技を通して、考えを広げたり、深めたりする活動
 - 第3学年～「なおとからのしつもん」において、なおとの質問に、どう答えるかを考えたり、公平に接することができる人が大切にしていることを話し合ったりするなど、考えを広げたり、深めたりする活動
 - 第4学年～「みんな同じだったら」において、自分の特徴は、どのようなところか、マップを使って書き出したり、自分のよいところを書いてもらったりするなど、考えを広げたり、深めたりする活動
 - 第5学年～「みんな、おかしいよ！」において、登場人物の言い分を整理したり、相手と理解し合うためには、どのようなことが大切なのかを考えたりするなど、考えを広げたり、深めたりする活動
 - 第6学年～「子ども会のキャンプ」において、謝る人と、謝られる人を交代して、言葉をかけ合ったり、言葉をかけ合って、よかったことを話し合ったりするなど、考えを広げたり、深めたりする活動

内容の構成・
排列、
分量等

- 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。
 - ・言語活動については、各学年に、児童から考えを引き出し深めていくさまざまな手立て「道徳で使う言葉」「考えよう・話し合おう」を配置し、児童が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができる工夫
 - ・問題解決的な学習については、各学年に、学んだことを自分に引き寄せて考えたり、問題を解決するためにはどうすればよいかを考えたりするための「学習のてびき」を配置し、自分との関わりで道徳的価値を捉え、自分なりに発展させていくことへの思いや課題が培われるような工夫
 - ・体験的な学習については、各学年に、演じている人の表情やしぐさをよく見て、言っていることをよく聞いて、考える「演じて考えよう」を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるような工夫
- 内容の分量については、次のようになっている。
 - ※ Aは「主として自分自身に関すること」、Bは「主として人との関わりに関すること」、Cは「主として集団や社会との関わりに関すること」、Dは「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」、Eは「複数の内容項目が含まれている教材」、Fは「内容項目以外の記載等」を表す。
 - 第1学年～ Aは33ページ、Bは28ページ、Cは40ページ、Dは19ページ、Eは3ページであり、Fは12ページであり、総ページ数は135

	<p>ページで、前回より約7%減となっている。</p> <p>第2学年～Aは43ページ、Bは34ページ、Cは41ページ、Dは26ページ、Eは11ページ、Fは12ページであり、総ページ数は167ページで、前回より約1%減となっている。</p> <p>第3学年～Aは42ページ、Bは43ページ、Cは46ページ、Dは22ページ、Eは18ページ、Fは14ページであり、総ページ数は185ページで、前回とほぼ同様となっている。</p> <p>第4学年～Aは42ページ、Bは43ページ、Cは46ページ、Dは29ページ、Eは19ページ、Fは14ページであり、総ページ数は193ページで、前回とほぼ同様となっている。</p> <p>第5学年～Aは47ページ、Bは44ページ、Cは39ページ、Dは35ページ、Eは22ページ、Fは10ページであり、総ページ数は197ページで、前回より約4%減となっている。</p> <p>第6学年～Aは40ページ、Bは44ページ、Cは58ページ、Dは41ページ、Eは20ページ、Fは12ページであり、総ページ数は215ページで、前回より約3%減となっている。</p>
<p>使用上の 配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年に、期待感をもって学習に向かい、1年間の学習を見通すことができるよう「道徳みちあんない」や巻末に、1時間ごとの振り返りを記録する折込「学びの記録」を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 各学年に、楽しみながら考えることができるよう「なんだろう なんだろう」や、教材を通して何を学ぶかを意識できるよう「学びのテーマ」を配置し、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての児童が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントやカラーユニバーサルデザインに配慮する（全学年）とともに、二次元コードを掲載し、デジタルコンテンツを活用できるようにする（全学年）など、使用上の便宜が図られている。
<p>指導上の 配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域素材については、第4学年の「付録 日本に伝わる『祭り』」で、さっぽろ雪まつり、第6学年の「付録 日本の伝統工芸」で、二風谷のアットゥシ、「命の旅」で、知床の魚や動物たちの営みが扱われている。また、第5学年の「夢を実現するためには」では、元北海道日本ハムファイターズの大谷翔平選手、「宇宙から見えたもの」では、余市町出身の毛利衛さんについて扱われている。 ○ ICTの活用については、全学年に情報モラル教育の教材とコラムを組み合わせたユニットが設定されている。道徳の特質を踏まえ、情報モラルについて深く考えることができるよう工夫されている。 ○ 小中連携については、第6学年「1さいから100さいのゆめ」により、児童が中学校やその先の生き方まで見通すことができるよう配慮がなされている。
<p>本市児童の 学習の状況等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道徳的価値を多面的・多角的に考える力を育むことができるよう、考えるヒント「演じて考えよう」「こんな活動で考えることもできるよ」など様々な学習活動が提示され、深い学びや豊かな学びにつながるよう工夫がなされている。 ○ 道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で考える力を育むことができるよう、「図を使って考えよう」において、思考ツールを活用して考えるとともに、「考えよう・話し合おう」において、日常生活に関連付けながら問題解決の思考ができるよう工夫がなされている。 ○ いじめ防止については、いじめをしない、させない、見過ごさない力を育むよう、「いじめ問題」「情報モラル」「環境」「共生」の4つのテーマについて、教材とコラムで構成したユニットが設定されている。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 人権教育、多様性、SDGs、LGBTQ等については、「学びの準備」において、世界人権宣言等を通じて、共生する社会について考えるよう構成されている。

観点	番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		116・日文	第1学年 第2学年 第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	道徳・115, 道徳・116 道徳・215, 道徳・216 道徳・315, 道徳・316 道徳・415, 道徳・416 道徳・515, 道徳・516 道徳・615, 道徳・616	しよかくどうとくいきびから 1, どうとくノート 小学どうとく生きる力 2, どうとくノート 小学どうとく生きる力 3, どうとくノート 小学道徳 生きる力 4, 道徳ノート 小学道徳 生きる力 5, 道徳ノート 小学道徳 生きる力 6, 道徳ノート
取扱内容	学習指導要領の総則及び各教科の目標, 内容等	<p>○ 生命の尊厳については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～お母さんのお腹の中の赤ちゃんなどを基に、生きることのすばらしさを知り、生命を大切にすることについて考える活動</p> <p>第2学年～交通事故でのけがなどを基に、生きることのすばらしさを知り、生命を大切にすることについて考える活動</p> <p>第3学年～子どもの命を大切に思う親の気持ちなどを基に、生命の尊さを知り、生命あるものを大切にすることについて考える活動</p> <p>第4学年～命に向き合ってきた医師の生き方などを基に、生命の尊さを知り、生命あるものを大切にすることについて考える活動</p> <p>第5学年～命を守るために懸命に努力した人などを基に、生命はつながりの中にあるかけがえのないものであり、生命を尊重することの大切さについて考える活動</p> <p>第6学年～白血病で亡くなった男の子の話などを基に、生命はつながりの中にあるかけがえのないものであり、生命を尊重することの大切さについて考える活動</p> <p>○ 自然については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～つばめの子育ての話などを基に、身近な自然や動植物に優しい心で接することの大切さについて考える活動</p> <p>第2学年～自分が生き物を観察したときのことなどを基に、身近な自然や動植物に優しい心で接することの大切さについて考える活動</p> <p>第3学年～水やりをさぼってかれたサルビアなどを基に、自然のすばらしさや不思議さを感じ取り、自然や動植物を大切にすることについて考える活動</p> <p>第4学年～道端の小さな草たちなどを基に、自然のすばらしさや不思議さを感じ取り、自然や動植物を大切にすることについて考える活動</p> <p>第5学年～自然を大切にしようと思った経験などを基に、自然の偉大さを知り、自然環境を大切にすることについて考える活動</p> <p>第6学年～環境保護活動に尽力した人の生き方などを基に、自然の偉大さを知り、自然環境を大切にすることについて考える活動</p> <p>○ 伝統と文化については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～日本の昔から伝わるお菓子などを基に、我が国や郷土の文化と生活に親しみ、愛着をもつことの大切さについて考える活動</p> <p>第2学年～長岡の大花火にこめられた思いや願いなどを基に、我が国や郷土の文化と生活に親しみ、愛着をもつことの大切さについて考える活動</p> <p>第3学年～東京産の野菜などを基に、我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、国や郷土を愛する心をもつことの大切さについて考える活動</p> <p>第4学年～江戸時代の浮世絵などを基に、我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、国や郷土を愛する心をもつことの大切さについて考える活動</p> <p>第5学年～和太鼓職人の思いなどを基に、我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、国や郷土を愛する心をもつことの大切さについて考える活動</p> <p>第6学年～日本の伝統的な作法などを基に、我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、国や郷土を愛する心をもつことの大切さについて考える活動</p> <p>○ 情報化への対応については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～羊飼いが嘘をついて楽しむ場面を扱い、自分のことを信じて</p>			

	<p>もらうためには、どのようなことが大切なのかを考える活動</p> <p>第2学年～夜遅くまで動画を観て、寝坊した場面を扱い、規則正しい生活を送るためには、どのようなことが大切なのかを考える活動</p> <p>第3学年～約束を破ってゲームをする場面を扱い、タブレットなどを正しく使うためには、どのようなことが大切なのかを考える活動</p> <p>第4学年～インターネットでのやり取りの場面を扱い、上手にやり取りするためには、どのようなことが大切なのかを考える活動</p> <p>第5学年～電話で友達と約束した場面を扱い、友達とのすれ違いが起これないようにするためには、どのようなことが大切なのかを考える活動</p> <p>第6学年～携帯電話を夜中まで使う場面を扱い、毎日同じリズムで生活するためには、どのようなことが大切なのかを考える活動</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～「あいさつのあるいちにち」において、互いに挨拶をするときの気持ちを話し合ったり、挨拶をするときと、しないときを演じたりするなど、グループでの話合いや役割演技を通して、考えを広げたり、深めたりする活動</p> <p>第2学年～「あぶないよ」において、自分の安全のために心掛けることを考えたり、知らない人に車に乗るように言われた場面を演じたりするなど、グループでの話合いや役割演技を通して、考えを広げたり、深めたりする活動</p> <p>第3学年～「これ、全部東京産」において、東京の味を守り続けている店員の思いを考えたり、インターネットで地域で大切にしていることを調べたりするなど、考えを広げたり、深めたりする活動</p> <p>第4学年～「つくればいいでしょ」において、自分の長所を伸ばすために取り組むことを考えたり、自分のよさを友達や家族に聞いたりするなど、考えを広げたり、深めたりする活動</p> <p>第5学年～「マンガ家 手塚 治虫」において、手塚さんがマンガ家を続けられた思いを考えたり、自分のよさを伸ばすために大切にすることを考えたりするなど、考えを広げたり、深めたりする活動</p> <p>第6学年～「わたしのせいじゃない」において、いじめを断ち切るための心のもち方を考えたり、いじめを止めるために、誰に話しかけるべきかを話し合ったりするなど、考えを広げたり、深めたりする活動</p>
<p>内容の構成・排列、分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動については、各学年に、児童が協働的な学びを進めるための「話す」、「聞く」、「書く」などの学習方法を紹介する「道徳の学び方」を配置し、児童が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができる工夫 ・問題解決的な学習については、各学年に、問題をつかむ活動や考える活動を促す発問など、児童の思考と対話を促した上で学習の参考となる「ぐっと深める」を配置し、自分との関わりで道徳的価値を捉え、自分なりに発展させていくことへの思いや課題が培われるような工夫 ・体験的な学習については、各学年に、役割演技や動作化を通して考えを深める「ぐっと深める」を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるような工夫 <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>※ Aは「主として自分自身に関すること」、Bは「主として人との関わりに関すること」、Cは「主として集団や社会との関わりに関すること」、Dは「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」、Eは「複数内容項目が含まれている教材」、Fは「内容項目以外の記載等」を表す。</p> <p>第1学年～ Aは55ページ、Bは38ページ、Cは61ページ、Dは25ページ、Eは0ページで、Fは21ページであり、総ページ数は200ページで、前回より約2%増となっている。</p> <p>第2学年～ Aは61ページ、Bは45ページ、Cは68ページ、Dは24ページ、Eは0ページ、Fは18ページであり、総ページ数は216ページで、前回より約2%増となっている。</p> <p>第3学年～ Aは53ページ、Bは56ページ、Cは76ページ、Dは29ページ、</p>

	<p>Eは0ページ、Fは18ページであり、総ページ数は232ページで、前回より約4%増となっている。</p> <p>第4学年～Aは55ページ、Bは52ページ、Cは79ページ、Dは32ページ、Eは0ページ、Fは18ページであり、総ページ数は236ページで、前回より約2%増となっている。</p> <p>第5学年～Aは49ページ、Bは56ページ、Cは69ページ、Dは40ページ、Eは0ページ、Fは18ページであり、総ページ数は232ページで、前回とほぼ同様となっている。</p> <p>第6学年～Aは58ページ、Bは51ページ、Cは73ページ、Dは40ページ、Eは0ページ、Fは18ページであり、総ページ数は240ページで、前回より約3%増となっている。</p>
<p>使用上の 配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年に、学習意欲を高め、主体的な学習態度の育成につなげる「オリエンテーション」や道徳の時間での学びを深める「学期ごとの振り返りページ」を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 各学年に、学びを広げ、深める「コラム 心のベンチ」や「導入の発問例」、「考えてみよう」、「見つめよう・生かそう」の3つの発問例を配置し、児童が主体的に学習等に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての児童が学習しやすいよう、カラーユニバーサルデザインや漢字の振り仮名に配慮する（全学年）とともに、二次元コードを掲載し、「教科書QRコンテンツ」を活用できるようにする（全学年）など、使用上の便宜が図られている。
<p>指導上の 配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域素材については、第5学年「ふろく 美しい夢ーゆめぴりかー」において、旭川市でとれた最高ランクのお米「ゆめぴりか」が扱われている。また、第2学年のコラム「心のベンチ 日本のおもしろいおまつり」において、「さっぽろ雪まつり」、第3学年のコラム「心のベンチ さいがいにそなえて」において、北海道胆振東部地震、第4学年の「聞かせて、君の声を！」では、釧路湿原が扱われている。 ○ ICTの活用については、情報社会の倫理や法の理解と遵守を「自由と責任」「節度・節制」「情報のすれ違い」の観点から取り上げ、全学年にコラムを掲載し、情報活用能力及び倫理観を育てるよう工夫がなされている。 ○ 小中連携については、別冊道徳ノートにおいて、道徳の学習で学んだことを記入し、成長を確かめ、中学校への学習へつなげるよう工夫がなされている。
<p>本市児童の 学習の状況等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道徳的価値を多面的・多角的に考える力を育むことができるよう、考えをぐっと深めるためのページにおいて、「問題解決的な学習」、「体験的な学習」や「多様な実践活動を生かした学習」を行うことで、深い学びの実現ができるよう工夫がなされている。 ○ 道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で考える力を育むことができるよう、「見つめよう・生かそう」において、授業で学んだことをこれからの自分自身に生かしていくための発問が設定され、別冊道徳ノートに考えたことを記入できるよう工夫がなされている。 ○ いじめ防止については、全学年で重要項目として扱い、各学年毎学期に関連教材をユニット化して配置され、集中的に考えることができるよう構成されている。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 人権教育、多様性、SDGs、LGBTQ等については、3年生以上のコラム「心のベンチ」において、SDGs等について、考えを深めることができるよう構成されている。

観点	番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		208・光文	第1学年 第2学年 第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	道徳・117 道徳・217 道徳・317 道徳・417 道徳・517 道徳・617	しょうかく どうとく ゆたかなこころ 1ねん 小学 どうとく ゆたかなこころ 2年 小学 どうとく ゆたかなこころ 3年 小学道徳 ゆたかなこころ 4年 小学道徳 ゆたかなこころ 5年 小学道徳 ゆたかなこころ 6年
取扱内容	学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等	<p>○ 生命の尊厳については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～身体の不自由な動物の子育てなどを基に、生きることのすばらしさを知り、生命を大切にすることについて考える活動</p> <p>第2学年～自分や家族の病気やけがなどを基に、生きることのすばらしさを知り、生命を大切にすることについて考える活動</p> <p>第3学年～自身の先祖について考えることなどを基に、生命の尊さを知り、生命あるものを大切にすることについて考える活動</p> <p>第4学年～院内学級の児童が書いた「命」の詩などを基に、生命の尊さを知り、生命あるものを大切にすることについて考える活動</p> <p>第5学年～動物の命を守る人の話などを基に、生命はつながりの中にあるかけがえのないものであり、生命を尊重することの大切さについて考える活動</p> <p>第6学年～事故で息子を失った親の話などを基に、生命はつながりの中にあるかけがえのないものであり、生命を尊重することの大切さについて考える活動</p> <p>○ 自然については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～動物と触れ合ったときの気持ちなどを基に、身近な自然や動植物に優しい心で接することの大切さについて考える活動</p> <p>第2学年～身近な植物の様子の変り変わりなどを基に、身近な自然や動植物に優しい心で接することの大切さについて考える活動</p> <p>第3学年～絶滅の危機にある動物などを基に、自然のすばらしさや不思議さを感じ取り、自然や動植物を大切にすることについて考える活動</p> <p>第4学年～北海道の自然とエゾリスの関係などを基に、自然のすばらしさや不思議さを感じ取り、自然や動植物を大切にすることについて考える活動</p> <p>第5学年～国立公園の自然を守る取組などを基に、自然の偉大さを知り、自然環境を大切にすることについて考える活動</p> <p>第6学年～北海道のエゾマツなどを基に、自然の偉大さを知り、自然環境を大切にすることについて考える活動</p> <p>○ 伝統と文化については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～紅葉狩りの経験などを基に、我が国や郷土の文化と生活に親しみ、愛着をもつことの大切さについて考える活動</p> <p>第2学年～ふるさとで作られた食物などを基に、我が国や郷土の文化と生活に親しみ、愛着をもつことの大切さについて考える活動</p> <p>第3学年～住んでいる土地の伝統行事などを基に、我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、国や郷土を愛する心をもつことの大切さについて考える活動</p> <p>第4学年～自分の町の誇りとなる物などを基に、我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、国や郷土を愛する心をもつことの大切さについて考える活動</p> <p>第5学年～市町村章などを基に、我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、国や郷土を愛する心をもつことの大切さについて考える活動</p> <p>第6学年～熊本城の復旧などを基に、我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、国や郷土を愛する心をもつことの大切さについて考える活動</p> <p>○ 情報化への対応については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～スマホやゲーム機を使う場面を扱い、スマホやタブレットを使うためには、どのようなことが大切なのかを考える活動</p> <p>第2学年～タブレットを使うときの母親との約束の場面を扱い、安全に気持ちよくタブレットを使うためには、どのようなことが大</p>			

	<p>切なのかを考える活動</p> <p>第3学年～インターネットの情報について判断する場面を扱い、情報と上手に付き合うためには、どのようなことが切なのかを考える活動</p> <p>第4学年～オンラインゲームでいらいらしてしまう場面を扱い、互いが気持ちよく交流するためには、どのようなことが切なのかを考える活動</p> <p>第5学年～権利について考える場面を扱い、他の人の権利を尊重するためには、どのようなことが切なのかを考える活動</p> <p>第6学年～スマホの使い方に関する両親とのやり取りの場面を扱い、スマホを上手に使うためには、どのようなことが切なのかを考える活動</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～「あいさつでげんきに」において、友だちと気持ちをこめた挨拶の練習をしたり、一言付け加えた挨拶をしたりするなど、グループでの話合いや役割演技を通して、考えを広げたり、深めたりする活動</p> <p>第2学年～「あいさつがきれいな王様」において、会話例を真似したり、合い言葉を意識して会話をしたりするなど、グループでの話合いや役割演技を通して、考えを広げたり、深めたりする活動</p> <p>第3学年～「ドンマイ！ドンマイ！」において、日直の仕事を忘れた友だちへ伝える言葉を考えたり、相手の気持ちを考えた言葉を伝えたりするなど、考えを広げたり、深めたりする活動</p> <p>第4学年～「貝がら」において、サッカーの試合で負けた原因について友だちへ伝える言葉を考えたり、相手の気持ちを考えた言葉を伝えたりするなど、考えを広げたり、深めたりする活動</p> <p>第5学年～「みんなの劇」において、友だちから遊びに誘われたときの断り方について考えたり、相手の気持ちを考えながら自分の思いを伝えたりするなど、考えを広げたり、深めたりする活動</p> <p>第6学年～「温かいおまんじゅう」において、友だちから宿題を見せて頼まれたときの断り方について考えたり、相手の気持ちを考えながら自分の思いを伝えたりするなど、考えを広げたり、深めたりする活動</p>
<p>内容の構成・排列、分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動については、各学年に、書いてまとめることによって理解を深めたり、整理したりするための道徳のノートの例として「まとめよう・ふりかえろう」を配置し、児童が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができる工夫 ・問題解決的な学習については、各学年に、他者の見方・考え方を確かめたり、ものごとを多面的・多角的に考えたりするための「話し合っ考えてみよう」を配置し、自分との関わりで道徳的価値を捉え、自分なりに発展させていくことへの思いや課題が培われるような工夫 ・体験的な学習については、各学年に、コミュニケーションスキルを高めるための体験的な活動を行う「みんなでやってみよう！」を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるような工夫 <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>※ Aは「主として自分自身に関すること」、Bは「主として人との関わりに関すること」、Cは「主として集団や社会との関わりに関すること」、Dは「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」、Eは「複数の内容項目が含まれている教材」、Fは「内容項目以外の記載等」を表す。</p> <p>第1学年～ Aは41ページ、Bは24ページ、Cは50ページ、Dは24ページ、Eは12ページ、Fは11ページであり、総ページ数は162ページで、前回より約3%増となっている。</p> <p>第2学年～ Aは40ページ、Bは40ページ、Cは49ページ、Dは26ページ、Eは12ページ、Fは11ページであり、総ページ数は178ページで、前回より約7%増となっている。</p> <p>第3学年～ Aは42ページ、Bは44ページ、Cは49ページ、Dは28ページ、Eは12ページ、Fは11ページであり、総ページ数は186ページで、前回より約2%増となっている。</p>

	<p>第4学年～Aは36ページ，Bは48ページ，Cは58ページ，Dは25ページ，Eは12ページ，Fは11ページであり，総ページ数は190ページで，前回より約2%増となっている。</p> <p>第5学年～Aは38ページ，Bは36ページ，Cは59ページ，Dは38ページ，Eは12ページ，Fは11ページであり，総ページ数は194ページで，前回より約2%増となっている。</p> <p>第6学年～Aは40ページ，Bは36ページ，Cは60ページ，Dは35ページ，Eは12ページ，Fは11ページであり，総ページ数は194ページで，前回とほぼ同様となっている。</p>
<p>使用上の 配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年に，1年間の道徳の学習を振り返るとともに，次の学年に向けてのエールとなるような贈る言葉「ことばのたからもの」や巻末に児童が自らの学習状況を確認する手立てとしての「学びの足あと」を配置し，自らの道徳性に係る成長を実感したり，新たな課題や目標をもったりするなど，児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 各学年に，「道徳の時間は，こんな時間です」や考えを広めたり，深めたりする「考えよう（展開）」「まとめよう（終末）」を配置し，児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての児童が学習しやすいよう，ユニバーサルデザインや漢字に振り仮名を付けるなどの配慮をする（全学年）とともに，二次元コードを掲載し，デジタルコンテンツを活用できるようにする（全学年）など，使用上の便宜が図られている。
<p>指導上の 配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域素材については，第4学年「しぜんを守るエゾリス」において，北海道のエゾリス，第6学年「自然のゆりかご」においてエゾマツが扱われている。また，第6学年「夢に向かって」において，札幌市出身の三浦雄一郎さんを題材として扱っている。 ○ ICTの活用については，全学年において，発達段階に応じた情報モラルを学ぶことができる教材やコラムを通じて，情報社会で適切な言動を行うための基となる考え方や態度について考えられるよう工夫がなされている。 ○ 小中連携については，第6学年の「わたしは ひろがる」において自分の可能性や進路，進路の夢について考えさせることにより，中学校生活や未来への思いを膨らませることができるよう配慮がなされている。
<p>本市児童の 学習の状況等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道徳的価値を多面的・多角的に考える力を育むことができるよう，キャラクターが共感や気付き，考えるためのポイントや考えを広げるための見方など，様々な投げかけを行うことにより，多様な感じ方や考え方を実感できるよう工夫がなされている。 ○ 道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で考える力を育むことができるよう，「考えたこと」「わかったこと」「学んだこと」を提示することにより，学習内容を振り返り，終末の「まとめよう」において道徳的価値を自ら捉え，他教科の学習や生活に生かすことができるよう配慮がなされている。 ○ いじめ防止については，全学年における重点主題として，直接的，間接的に自身の問題として捉えられるよう教材が選定され，「いじめを生まない心」を育むことができるよう配慮されている。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 人権教育，多様性，SDGs，LGBTQ等については，特に重要なテーマの1つ「人権・共生」として全学年で扱われ，互いの多様性を認め合いながら，共に生きる社会に実感をもって考えることができるよう構成されている。

観点	番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		224・学研	第1学年 第2学年 第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	道徳・118 道徳・218 道徳・318 道徳・418 道徳・518 道徳・618	新版 みんなのどうとく1 新版 みんなのどうとく2 新版 みんなのどうとく3 新版 みんなの道徳4 新版 みんなの道徳5 新版 みんなの道徳6
取扱内容	学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等	<p>○ 生命の尊厳については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～実物大の赤ちゃんの写真などを基に、生きることのすばらしさを知り、生命を大切にすることについて考える活動</p> <p>第2学年～植物の成長などを基に、生きることのすばらしさを知り、生命を大切にすることについて考える活動</p> <p>第3学年～闘病中の児童とその家族の思いなどを基に、生命の尊さを知り、生命あるものを大切にすることについて考える活動</p> <p>第4学年～重い病気を患っている子どもの生き方などを基に、生命の尊さを知り、生命あるものを大切にすることについて考える活動</p> <p>第5学年～児童が書いた「命」の詩を基に、生命はつながりの中にあるかけがえのないものであり、生命を尊重することの大切さについて考える活動</p> <p>第6学年～天国に旅立った祖父の思いなどを基に、生命はつながりの中にあるかけがえのないものであり、生命を尊重することの大切さについて考える活動</p> <p>○ 自然については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～昆虫を飼育する体験などを基に、身近な自然や動植物に優しい心で接することの大切さについて考える活動</p> <p>第2学年～動物園のキリンの死などを基に、身近な自然や動植物に優しい心で接することの大切さについて考える活動</p> <p>第3学年～山火事を止めようとした鳥の行動などを基に、自然のすばらしさや不思議さを感じ取り、自然や動植物を大切にすることについて考える活動</p> <p>第4学年～ウミガメの成長などを基に、自然のすばらしさや不思議さを感じ取り、自然や動植物を大切にすることについて考える活動</p> <p>第5学年～病気の動物を支える活動などを基に、自然の偉大さを知り、自然環境を大切にすることについて考える活動</p> <p>第6学年～清掃登山活動などを基に、自然の偉大さを知り、自然環境を大切にすることについて考える活動</p> <p>○ 伝統と文化については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～正月の過ごし方などを基に、我が国や郷土の文化と生活に親しみ、愛着をもつことの大切さについて考える活動</p> <p>第2学年～自分の町の好きなどころなどを基に、我が国や郷土の文化と生活に親しみ、愛着をもつことの大切さについて考える活動</p> <p>第3学年～大地震からの復興などを基に、我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、国や郷土を愛する心をもつことの大切さについて考える活動</p> <p>第4学年～折り紙などを基に、我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、国や郷を愛する心をもつことの大切さについて考える活動</p> <p>第5学年～江戸時代の生活などを基に、我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、国や郷土を愛する心をもつことの大切さについて考える活動</p> <p>第6学年～伝統的な祭などを基に、我が国や郷土の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、国や郷土を愛する心をもつことの大切さについて考える活動</p> <p>○ 情報化への対応については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～掲示板の内容を書き換える場面を扱い、元の情報を変えて困らせないためには、どのようなことが大切なのかを考える活動</p> <p>第2学年～学級新聞に間違った情報を書いて友達から怒られた場面を扱</p>			

	<p>い、情報を発信するためには、どのようなことが大切なのかを考える活動</p> <p>第3学年～家のパソコン使用時の約束を破った場面を扱い、インターネットを安全に使うためには、どのようなことが大切なのかを考える活動</p> <p>第4学年～あるサイトに自分の名前を入力してしまう場面を扱い、自分の情報を守るためには、どのようなことが大切なのかを考える活動</p> <p>第5学年～SNSに写真をアップロードする場面を扱い、情報を発信する際には、どのようなことが大切なのかを考える活動</p> <p>第6学年～SNSのチャットで友達とやりとりする場面を扱い、情報社会でのコミュニケーションには、どのようなことが大切なのかを考える活動</p> <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～「金のおのぎんのおの」において、話の続きを考えたり、登場人物同士が話す場面を演じたりするなど、グループでの話し合いや役割演技を通して、考えを広げたり、深めたりする活動</p> <p>第2学年～「およげないりすさん」において、登場人物になって、問題を相談する場面を演じたり、演じてみてどう思ったのかを友達と話し合ったりするなど、グループでの話し合いや役割演技を通して、考えを広げたり、深めたりする活動</p> <p>第3学年～「みんなの学級会」において、出された意見のよさについて考えたり、異なる意見が出たときの話し合いをまとめるために大切にすることを話し合ったりするなど、考えを広げたり、深めたりする活動</p> <p>第4学年～「クラスたいこう全員リレー」において、登場人物の気持ちになって考えたり、自分がこの場にいたら、どんな発言をするのかを発表したりするなど、考えを広げたり、深めたりする活動</p> <p>第5学年～「日本の『まん画の神様』」において、自分の長所を見つけたり伸ばしたりするために大切なことを考えたり、考えたことを話し合ったり、そこから考えたことを書いたりするなど、考えを広げたり、深めたりする活動</p> <p>第6学年～「チョモランマ清掃登山隊」において、自然と共存するために、どんなことを大切にしたいか考えて書いたり、書いたものを読み合い、感じたことを話し合ったりするなど、考えを広げたり、深めたりする活動</p>
<p>内容の構成・排列、分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動については、各学年に、児童が自由に意見や感想を記録できる記入欄や、考えを深めるきっかけとなる問いとして「考えよう」を配置し、児童が多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができる工夫 ・問題解決的な学習については、各学年に、児童が思考を整理するための三つのステップを通した学習の流れを提案する「深めよう」を配置し、自分との関わりで道徳的価値を捉え、自分なりに発展させていくことへの思いや課題が培われるような工夫 ・体験的な学習については、各学年に、自分につなげて考えたり、話題を広げたりする「心のパスポート」を配置し、体験的行為や活動を通じて学んだ内容から道徳的価値の意義などについて考えを深めるような工夫 <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>※ Aは「主として自分自身に関すること」、Bは「主として人との関わりに関すること」、Cは「主として集団や社会との関わりに関すること」、Dは「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」、Eは「複数の内容項目が含まれている教材」、Fは「内容項目以外の記載等」を表す。</p> <p>第1学年～ Aは42ページ、Bは31ページ、Cは30ページ、Dは24ページ、Eは0ページであり、Fは15ページであり、総ページ数は142ページで、前回より約3%増となっている。</p> <p>第2学年～ Aは47ページ、Bは30ページ、Cは37ページ、Dは21ページ、Eは0ページ、Fは15ページであり、総ページ数は150ページで、前回より約6%増となっている。</p>

	<p>第3学年～ Aは36ページ， Bは36ページ， Cは42ページ， Dは29ページ， Eは0ページ， Fは15ページであり， 総ページ数は158ページで， 前回より約3%増となっている。</p> <p>第4学年～ Aは37ページ， Bは43ページ， Cは45ページ， Dは26ページ， Eは0ページ， Fは15ページであり， 総ページ数は166ページで， 前回より約5%増となっている。</p> <p>第5学年～ Aは36ページ， Bは31ページ， Cは46ページ， Dは34ページ， Eは0ページ， Fは15ページであり， 総ページ数は162ページで， 前回より約2%減となっている。</p> <p>第6学年～ Aは36ページ， Bは38ページ， Cは49ページ， Dは32ページ， Eは0ページ， Fは15ページであり， 総ページ数は170ページで， 前回とほぼ同様となっている。</p>
<p>使用上の 配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年に， 自分を取り巻く社会へ意識を向けながら， 自分自身とのつながりを探る「つながるわたし ひろがるわたし」や巻末に1年間の学びや自らの成長を振り返る「つなげよう ひろげよう」を配置し， 自らの道徳性に係る成長を実感したり， 新たな課題や目標をもったりするなど， 児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 各学年に， 「道徳の学習がはじまるよ」や児童が自分の考えを深めるきっかけになるマークボックスを配置し， 児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 全ての児童が学習しやすいよう， ユニバーサルデザインフォントやカラーユニバーサルデザインに配慮する（全学年）とともに， 二次元コードを掲載し， デジタルコンテンツを活用できるようにする（全学年など， 使用上の便宜が図られている）。
<p>指導上の 配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域素材については， 第6学年「市民に愛される動物園を目指して」において， 旭山動物園が題材として扱われている。また， 第1学年の「七つぼし」の関連教材「こころのパスポート きれいだね」において， 北海道の青空にかかる虹の写真， 第4学年「折り紙」の関連教材「心のパスポート 折り紙で広がる世界」において， 札幌市出身の有澤悠河さんの折り紙作品が扱われている。 ○ ICTの活用については， 情報の扱い方や情報モラルに関すること， SNSのコミュニケーションの在り方について， 子どもの発達段階に応じた題材が扱われ， コラムを通じて考えを深めるなどの工夫がなされている。 ○ 小中連携については， 教科書の最後のページに， 「つなげよう ひろげよう」が設けられ， 自分の成長を振り返り， 中学校へ進学することができるよう配慮がなされている。
<p>本市児童の 学習の状況等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道徳的価値を多面的・多角的に考える力を育むことができるよう， 特設ページ「深めよう」における問題解決的な学習や， 「心のパスポート」における複数の教材を用いた体験的な学習を通し， 豊かな心を育むことができるよう工夫されている。 ○ 道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で考える力を育むことができるよう， 「考えよう」において， 教材の道徳的価値に準じた問いが掲載されており， 自分自身のこととして価値理解を深めることができるよう配慮がなされている。 ○ いじめの防止については， 生命の尊さや人権を重んじ， 多様性を受け入れながら他者と共によりよく生きることについて， 年間を通じて考えることができるよう教材の構成の工夫がなされている。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 人権教育， 多様性， SDGs， LGBTQ等については， 現代的な課題とSDGsを結びつけ， 変化の激しい世の中に応じる力を育むよう構成されている。また， 多様性については， 「共に生きる」ことをキーワードに複数教材を用いたユニットとして学習することができるよう構成されている。